

施策評価シート(平成31年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0302	政策名	学校教育の充実	施策主管課	学務管理課	課長名	佐々木 晋
政策の目指す姿	夢と希望を持ち、たくましくいきいきと育っています						
施策No	04	施策名	教育環境の充実	関係課名	教育企画課、学校教育課		
施策の目指す姿	適正で安全な施設環境が整い、家庭・地域と連携した学校教育が行われています						
現状と課題							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故の未然防止や不審者対策など、児童生徒の登下校時の安全確保が課題となっています。</li> <li>・少子高齢化社会の進展や家庭環境の変化、保護者の価値観が多様化しています。</li> <li>・児童数の減少が著しい複式学級を有する小学校において、発達段階に応じた学習環境を提供することが一段と困難になっています。</li> <li>・学区の再編成を行う場合は、地域の理解を得られることが必要不可欠であることから、実施までに相応の時間がかかることが予想されます</li> <li>・老朽化が進んでいる校舎等があります。</li> <li>・少子化の影響等により、公教育の一翼を担う私立学校の運営の厳しさが増すことが予想されます。</li> <li>・岩手県教育委員会が策定した「新たな県立高等学校再編計画」に基づく取り組みが進められています。</li> <li>・経済的な事情等により、就学が困難な生徒の増加が予想されます。</li> </ul>							

前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>・奨学金事業については、市内の中学校、高等学校や大学に対し、チラシ配布や学校訪問による周知依頼を実施するとともに、市の広報・Webページ、FMはなまきを活用して、各家庭へ周知する。</li> <li>・家庭・地域との連携による学校経営を推進するため、コミュニティー・スクール研究指定校を指定し、地域との協働による学校経営の充実を支援する。</li> <li>・小中連携教育実践校を指定し、9年間を見通した教育の充実を支援する。</li> </ul>
反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・奨学金事業については、市内の中学校、高等学校や大学に対し、チラシ配布や学校訪問により周知依頼を実施するとともに、市の広報・Webページ、FMはなまきを活用して、各家庭への周知を図った。</li> <li>・コミュニティー・スクールの導入を見据え、3つの中学校区に地域コーディネーターを配置し、地域と一体となった特色ある学校経営を支援した。</li> <li>・同一地区の中学校1校と小学校3校を小中連携教育実践校に指定し、義務教育9年間の連続性をふまえた学力向上や生徒指導の充実に向けた研究を支援した。</li> <li>・学区の再編成について、「花巻市立小中学校における適正規模・適正配置に関する基本方針」を策定後、各PTAや地域の団体を対象に教育懇談会等を18回開催し、基本方針への理解を深めていただいたほか、大迫地域の小学校については、令和3年4月統合の合意を得た。</li> </ul>

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

(1)地域に開かれた学校づくり 地域の安全指導体制の強化 ・スクールガードリーダーによる巡回指導、小中学校の巡回指導及び評価、スクールガード養成講習会の実施 教育活動の積極的な公開 ・授業実践公開研究会(6校) 家庭、地域との協働による学校運営の推進 ・地域コーディネーターを配置し、地域人材を活用した事業を実施 家庭、地域の教育力向上のための支援 ・家庭や地域と「まなびフェスト」を共有し、目標達成に向けて取組を実施
(2)教育環境の充実 少子化による児童生徒減少に対応した学区再編 ・「花巻市立小中学校における適正規模・適正配置に関する基本方針」を策定し、各小中学校PTAを対象とする教育懇談会(14回)のほか、地域の団体を含め計18回の懇談会を開催 安全安心で快適な学習環境の確保に向けた施設長寿命化の推進 ・校舎等維持補修工事 ・非構造部材耐震化工事 ・小・中学校エアコン設置工事 自立支援に向けた修学資金援助 ・経済的に不利な方への返還補助制度の実施
(3)高校教育への支援 私立高校の振興に対する支援 ・私立高校の運営に対する補助金交付 市内県立高等学校の存続および学級数の維持による教育の機会均等の確保 ・大迫高等学校の生徒確保に取り組む団体に対する補助金交付 高等学校以上の修学に対する支援 ・市奨学金制度による高校生や大学生等への奨学金の貸与

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	数値区分	H28	H29	H30	H31	R02	R03
地域との協働による教育活動に取り組んでいる学校の割合(小学校)	地域との協働による教育活動に取り組んでいる学校の状況を示す指標であり、開かれた学校づくりの推進状況を測ることができる。	全国学力・学習状況調査(問)保護者や地域の人の学校支援ボランティア活動は学校の教育水準の向上に効果がありましたか(1)そう思う、(2)どちらかといえば、そう思う、(3)どちらかといえば、そう思わない、(4)そう思わない(1)、(2)と回答した学校の割合で測る	%	目標値		94.70	94.70	100.00		
				実績値		89.50	89.50	100.00		
地域との協働による教育活動に取り組んでいる学校の割合(中学校)	地域との協働による教育活動に取り組んでいる学校の状況を示す指標であり、開かれた学校づくりの推進状況を測ることができる。	全国学力・学習状況調査(問)保護者や地域の人の学校支援ボランティア活動は学校の教育水準の向上に効果がありましたか(1)そう思う、(2)どちらかといえば、そう思う、(3)どちらかといえば、そう思わない、(4)そう思わない(1)、(2)と回答した学校の割合で測る	%	目標値		81.80	90.90	100.00		
				実績値		90.90	90.90	100.00		
				目標値						
				実績値						

### 3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
A	<p>成果指標「地域との協働による教育活動に取り組んでいる学校の割合」…【達成度 a】</p> <p>各校で、家庭や地域と連携し特色ある教育活動を展開し、目標を達成している。</p> <p>各校が、コミュニティ・スクールを意識し、地域との連携を強く意識した学校運営に取り組んだ。</p> <p>複雑化・多様化している学校現場の課題を解決し、子供たちの教育環境を充実させるためには、地域住民等の協力を得て、社会総がかりで教育の実現を図っていくことが重要であることを認識し、学校は地域との協働による教育活動に力を注いでいる。</p>

### 4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
なし
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
<ul style="list-style-type: none"> <li>・奨学金活用人材確保支援事業について、さらに周知を図る必要がある。</li> <li>・はなまき夢応援奨学金について、奨学金制度全体の在り方を含めて再考し、より多くの生徒が進学の機会を確保できるよう努める必要がある。</li> <li>・コミュニティ・スクールを見据えた、家庭・地域との協働による学校経営を推進するための学校地域連携事業は、モデル校による実践を支援すると同時に、他の学校や地域に広める必要がある。</li> </ul>
新たに取り組むべき事業はないか
<ul style="list-style-type: none"> <li>・GIGAスクール構想に基づく一人一台タブレット端末の整備</li> </ul> <p>文部科学省が策定した「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画（2018～2022年度）」や「花巻市学校ICT推進計画」に基づき、児童生徒の主体的・対話的で深い学びを実現するため、タブレット端末や大型提示装置などのICT環境を十分に整備し、発達段階に合わせた情報活用能力の育成に資するため。</p>

### 5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の私立高校は、少子化等の影響により、生徒数は減少傾向にあるが、引き続き教育環境の充実を図る必要がある。</li> <li>・奨学金事業は、国の給付型奨学金の実施状況を確認しながら、更に利用しやすい制度の構築を図る必要がある。</li> <li>・コミュニティ・スクールを見据えた学校経営の充実を図るため、各校がより積極的に地域の教育力を活用できるように支援する必要がある。</li> </ul> <p>・教育におけるICTを基盤とした先端技術等の効果的な活用が求められており、効果的な学習活動による児童・生徒の学力向上及び授業の効率化のため、早急にICT環境を整備する必要がある。</p>
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>・私立高校振興事業については、中学生の進学を受け皿として、教育環境の充実を図るため、引き続き市内の私立高校に対し、補助金を交付し、支援に努める。</li> <li>・奨学金事業については、市内の中学校、高等学校や大学に対し、チラシ配布や学校訪問による周知依頼を実施するとともに、市の広報・Webページ、FMはなまきを活用して、各家庭へ周知する。また、奨学金制度全体の在り方を含めて再考し、より多くの生徒が進学の機会を確保できるよう努めていきたい。</li> <li>・家庭・地域との連携による学校経営を推進するため、コミュニティ・スクール推進モデル校を指定し、地域の人材やボランティア団体と連携した学校運営を実施する等、地域との協働による学校経営の充実を支援する。</li> <li>・児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、タブレット端末や大型提示装置などのICT環境を十分に整備する。</li> </ul>

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		成果
			対象	意図	
			直結度		
010	<b>小中学校学区再編成等調査事業費</b>	教育企画	一致	直結	A
	基本方針を策定し、各小中学校PTAを対象とする教育懇談会(14回)のほか、地域の団体を含め計18回の懇談会を実施した。				
020	<b>私立高校振興事業費</b>	教育企画	一致	直結	C
	私立高校の運営に対する補助金交付(3,240千円)				
030	<b>奨学金活用人材確保支援事業費</b>	学務管理	一致	直結	C
	奨学金返還者で、市内保育園に勤務する保育士に返還金の半額を補助し保育士を確保する。(5人) 奨学金返還者で、市内大学を卒業した市内居住者に対し、返還金の半額を補助し定住を図る。(2人)				
040	<b>学校安全確保事業費</b>	学校教育	一致	直結	-
	スクールガード・リーダーによる巡回指導回数(248回) スクールガード養成講習会の実施回数(6回)				
050	<b>教科用図書採択事業費</b>	学校教育	一致	直結	-
	中学校道徳の教師用教科書および指導書の購入(1,492千円) 小学校の教科書の採択に向けて、地区教科用図書採択協議会へ負担金を支出(200千円)				
060	<b>学校地域連携事業費</b>	学校教育	一致	直結	B
	運営委員会開催の回数(3回) 地域人材が参画して行った事業の実施回数(479回)				
070	<b>小学校施設維持事業費</b>	教育企画	一致	直結	-
	学校施設要望等に対応する修繕(修繕学校数:19校) 非構造部材耐震化工事(4校...若葉、宮野目、桜台、大迫)、エアコン設置工事(19校)、八幡小学校法面改修工				
080	<b>中学校施設維持事業費</b>	教育企画	一致	直結	-
	学校施設要望等に対応する修繕(修繕学校数:11校) エアコン設置工事(11校)				
090	<b>大迫中学校校舎改築事業費</b>	教育企画	一致	直結	-
	自転車置場棟連築工事、屋外照明等設置工事、屋外環境付帯工事(法面整備、校地内通路整備、ロータリー整備、駐車場敷砂利など)				
100	<b>小学校校内ネットワーク整備事業費</b>	学務管理			-
	(令和2年度へ繰越)				
110	<b>中学校校内ネットワーク整備事業費</b>	学務管理			-
	(令和2年度へ繰越)				
120	<b>小中連携強化事業費</b>	学校教育	間接・少数	直結	B
	小中合同の研修会や情報交換会等の実施回数(2回) 小中連携教育実践校を指定、9年間を見越したカリキュラムや教材等の作成				
130	<b>はなまき夢応援奨学金事業費</b>	学務管理	一致	直結	A
	修学に向けた支援が必要な方に、学資金を貸与。卒業後市内に居住する場合、返還免除(2人)				
140	<b>学校図書館支援事業費</b>	学校教育	一致	直結	B
	学校図書館巡回・読み聞かせ等指導実施回数(233回)				
150	<b>岩手県立大迫高等学校生徒確保対策事業費</b>	大支(教育)	間接・少数	直結	A
	高校生おおはさま留学生の受け入れ(1人) 大迫高等学校の生徒確保に取り組む団体に対する補助金交付(1,140千円)				
160	<b>部活動適正化促進事業費</b>	学校教育	一致	直結	B
	教員の多忙化を解消するため、部活動指導員を中学校10校に配置した。				